

土壌害虫防除の決定版!!



ネキリムシ類



ハリガネムシ



コメツキムシ(ハリガネムシの成虫)



コガネムシ類幼虫



タネバエ幼虫



タネバエ被害(だいす)

カルホス® 微粒剤F

✓ 特長

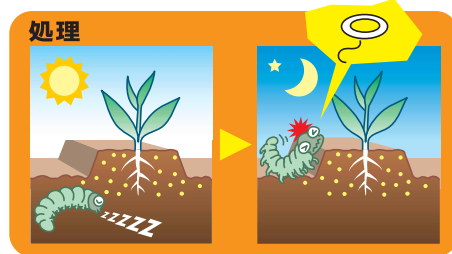
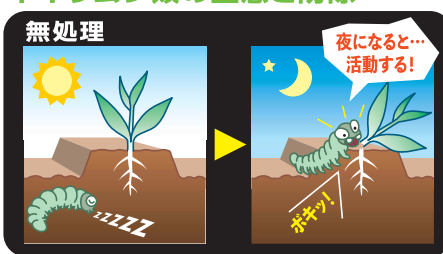
- 広い殺虫スペクトラムを持つ殺虫剤で、活性持続効果が優れています。
- 地下部を加害する土壌害虫(ネキリムシ類、コガネムシ類幼虫、タネバエ、ハリガネムシ)に優れた効果を示します。
- 悪臭や刺激性がなく、使いやすい薬剤です。



上手な使い方

は種時・植付時の
土壌混和処理で
安定した効果!!

ネキリムシ類の生態と防除



土壌表面に
均一に



5cm程度の
深さまで

〈全面散布〉
〈作業散布〉

〈混和〉

〈は種〉

〈植付〉

●適用害虫名と使用方法

(2019年2月現在の登録内容)

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	イソキサチオンを含む農薬の総使用回数	使用方法	
りんご	モモシクイガ	5kg/10a	夏蘭宮繭時～ 第一世代成虫羽化期	4回以内	4回以内	地表面散布	
キャベツ、はくさい	ネキリムシ類	6kg/10a	は種時又は 植付時	1回	1回	土壌表面散布 土壌混和处理	
レタス、非結球レタス わけぎ、あさつき				2回以内	2回以内		
ねぎ			は種時	1回	4回以内 （は種時は1回以内、 植付時は1回以内、 植付後は2回以内）		土壌表面散布 土壌混和处理
			植付時				
だいこん			は種時～生育初期 但し、 収穫30日前まで		1回		
しゅんぎく			定植時				
ほうきぎ			は種時				
ほうれんそう	タネバエ	は種時	2回以内	2回以内	作条処理土壌混和 株元散布		
かぼちゃ、すいか	ネキリムシ類	定植時			作条処理土壌混和		
だいず	タネバエ	は種時			植穴処理土壌混和		
	ネキリムシ類	は種時又は定植時			1回	5回以内 （粉剤及び粉粒剤のは種時の 処理は合計1回以内、 粉剤及び粉粒剤の定植時は 合計1回以内、 粉剤の土壌表面散布は 1回以内、粒剤の土壌表面 株元処理は2回以内）	土壌表面散布 土壌混和处理
えだまめ		定植時					
タネバエ ネキリムシ類		は種時					
もりあざみ		収穫21日前まで	1回				
エンダイブ、食用ぎく		定植時					
いちご(仮植床)	コガネムシ類幼虫	9kg/10a	植付時	2回以内			
たばこ	ネキリムシ類 ハリガネムシ	6～9kg/10a	植付前				
花き類・観葉植物	カブラヤガ	6kg/10a	定植時	1回	作条処理土壌混和		

●だいず・ネキリムシ類(タマナヤガ)に対する効果

2002年 秋田県農業試験場

		被害率(%) (対無処理比)
カルホス微粒剤F		3.9
対照A剤		32.2

●発生状況：少発生

●品種：リュウホウ

●は種：5/30

●処理方法：は種当日の5/30に、所定量を条間に土壌表面に散布。
対照剤はは種14日後の6/13に所定量を全面に散布。

●調査：は種21日後に被害率を調査。

●考察：無処理と比較して被害率が少なく、高い防除効果が認められた。

⚠ 効果・薬害等の注意

●使用量に合わせ秤量し、使いきってください。

●りんごのモモシクイガに対する地表面散布に際しては、次の事項に注意してください。

①地表面散布は害虫の密度低下を目的としたものである
ので、この散布だけで常に十分な防除効果を期待する
ことはできません。したがって必ずシンクイムシ防除剤に
よる樹上散布を併用して防除してください。②散布は地表面に均一にしていけないに行い、土壌と混和しな
いください。③散布時期を誤ると効果が減じるので発生予測に注意し、
時期を誤らないようにしてください。夏マユの営繭時か
ら成虫羽化初期が散布適期です(おおむね6月中旬～
7月)。なお、散布時期については病害虫防除所等関係機
関の指導を受けるようにしてください。●たばこの作条処理の場合は、植付けの条間になるべく幅広
く散布し、土壌とよく混和してください。植穴処理はさけて
ください。

●キャベツ、だいずを使用する場合は、植溝または播溝に

なるべく幅広く散布し、土壌とよく混和してください。植穴
又は播穴施用はさけてください。●いちごに使用する場合は、仮植床全面に均一に散布して表
土とよく混和してください。

●つまみ菜・間引き菜には使用しないでください。

●蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないよ
うにしてください。●ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱及び
その周辺にかからないようにしてください。●適用作物群に属する作物又はその新品種に初めて使用す
る場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分
確認してから使用してください。なお、普及指導セン
ター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにし
てください。

⚠ 安全使用上の注意

●医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。誤って
飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受け
させてください。使用中に身体に異常を感じた場合には、

直ちに医師の手当を受けてください。

●散布の際は防護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用
してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、
うがいをしてください。治療法：本剤の解毒剤としては、硫酸アトロピン製
剤及びPAM製剤が有効であると報告されて
います。水産動植物への影響：水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそ
れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入
しないよう注意して使用してください。散
布器具及び容器の洗浄水は河川等に流さ
ないでください。また、空容器、空袋等は水
産動植物に影響を与えないよう適切に処
理してください。保管：密封し、食品と区別して、直射日光の当た
らない冷涼な所に、カギをかけて保管し
てください。盗難・紛失の際は、警察に届け
てください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

●容器・空袋などは圃場などに放置せず、適切に処理してください。

製造



保土谷UPL株式会社

東京都中央区八重洲二丁目4番1号
http://www.hodogaya-upl.com

販売



日本曹達株式会社

〒100-7010 東京都千代田区丸の内二丁目7番2号
お問合せ (03)4212-9655
(平日9～12時、13～17時、土日祝日を除く)

NO.273-2412Z

最新の登録内容、
SDSはこちら